

1. 評価対象事務事業

		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	農水産物まつり事業	担当課・係名	産業観光課産業振興係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	6
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	大磯の農水産物を紹介、直売することで広く地産地消を目指す				
対象 (誰を・何を)	町民等				
内容	大磯の農水産物を紹介、直売することで広く地産地消を目指す				
根拠法令・条例等	大磯ふれあい農水産物まつり交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	523	532	491
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	523	532	491
	職員人数 (概算職員数)	人			0.20
	人件費計 (b)	千円			1,226
総事業費 (a)+(b)	千円	523	532	1,717	
事業費内訳 H 25 年度	消耗品費：181千円    印刷製本費：10千円 ふれあい農水産物まつり事業交付金：300千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民等	人	32,000	32,000	32,000
	②				
活動指標 (活動量)	① 町民等	人	32,000	32,000	32,000
	②				
成果指標 (達成度等)	① 来場者数	人	4,000	3,900	4,000
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成17年度から実施主体を町から、実行委員会へ移した。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成17年度から実施主体を町から、実行委員会へ移した。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成17年度から「農産物まつり」と「さかなまつり」を統合し会場の変更や「大磯市」との同日開催などにより来場者数は増加した。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	低コストで実行委員会形式で実行している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	実行委員会に実施主体を移したことから、経費が削減されている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 平成17年度から実施主体を実行委員会に移し、それなりに効果は上がっているが、品評会についてはもうすこし、工夫が必要と思われる。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
品評会のあり方、場所等について検証する。
② 平成26年度に着手する事項
なし。
③ その他（課題、調整事項等）
「大磯市」が盛況になり、再度品評会も含め農業振興の観点から検証する必要がある。

#### 6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

中心的農家、新規就農者、Uターン就農者の方にブランド力が身につくような品評会のあり方を検証する。
--